

教科名	国語	科目	現代文	単位	3単位
-----	----	----	-----	----	-----

1. 教科書および副教材

教科書：『精選 現代文B』（東京書籍）

副教材…『改訂版現代文キーワード読解』（Z会出版）〔高1から継続使用〕

『入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500』（いいずな書店）〔高1から継続使用〕

『大学入学共通テストへのアプローチ』（いいずな書店）〔高1から継続使用〕

『プログレス現代文 標準編』（いいずな書店）

『クリアカラー国語便覧』（数研出版）

2. 授業の目標および内容

評論文では、哲学や心理学、自己と他者、近代と現代社会など様々な分野の文章の読解を通じ、確かな読解力や要約力の向上、自分と社会との結びつきを認識し、思考するための視点を獲得していくことを目指します。また、文学的文章を通じ、感性と表現力を磨き、豊かな人生を送る一助とすることを目標にします。加えて、新分野「実用国語」では、日常生活で出会う具体的な場面において、複数の資料から必要な情報を抽出したり、比較・検討して判断・表現したりする力を養います。その前提として、読解力の基礎となる語彙力や知見を獲得するために、定期的な漢字テスト、及び教科書本文に関わるテーマ学習を行っていきます。

3. 試験について

	1学期		2学期		3学期
定期試験	一次中止	二次7月	一次10月	二次12月	期末3月
学力試験	なし		第1回 9月		第2回 2月

※内容・評価等について

- ① 定期試験…教科書本文と漢字、及びテーマ学習の範囲から、平均点が60点程度になるように100点満点の問題を作成します。特進クラスは発展的な（初見の）問題も出題します。
- ② 学力試験…授業で既習の知識・技能等の実力を図る目的で、日大基礎学力到達度テストや他大学一般入試の出題形式等を見据えながら、古典と合わせて「国語」として100点満点で出題します。進学クラス・特進クラス共通問題です。

4. 課題・補習について

長期休業中は『プログレス現代文』等を課題とします。夏季休業中には、日本大学文芸コンクールの課題から各自がそれぞれ選択し、創作作品を提出します。講習は長期休業中に実施する予定です。講習・補習などは全体の学習状況を鑑みて、適宜実施します。

平素の課題は、週1回の漢字テストや单元ごとのテーマ学習、教科書本文の読み込み、及び演習プリントです。なお、各小テストに不合格の場合は、追試や課題があります。

5. 平常点

授業への姿勢、ノート、漢字テスト等の点数、宿題提出などを考慮して平常点を加減します。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	<p>評論 小林康夫「世界をつくり替えるために」</p> <p>① 小説 中島敦「山月記」前</p> <p>② 小説 中島敦「山月記」後</p> <p>③ 評論 鈴木孝夫「相手依存の自己規定」</p>	<p>○評論文を読むうえで必要な基本語彙の復習をしながら、本文の構造や文章の表現に注意し、筆者の意見を読み取る。</p> <p>○近代文学の流れを学び、「山月記」を味わう。また、小説読解に必要な基礎的な視点を確認する。</p> <p>○日本人がどのように自己を認識しているかを理解すると同時に、多言語や他民族との比較を通し、異文化に対する理解を進める。</p>	<p>*『TOP2500』によって基本的に週1回漢字テストを実施する。</p> <p>* 実用国語は『大学入学共通テストへのアプローチ』を使用する。</p> <p>* 特進クラスは、年間を通して様々な文章に触れ、要約をとおして思考力を養い、現代文読解に必要な語彙力・知識・技術の習得を目指します。</p>
2	<p>① 評論 多木浩二「消費されるスポーツ」</p> <p>① 小説 夏目漱石「こころ」前</p> <p>② 小説 夏目漱石「こころ」後</p> <p>② 実用国語</p>	<p>○スポーツがどのように大衆化し、消費されてきたかを筆者の論理にしたがって理解する。また、筆者の主張を補う事例がないか、あるいは、同様の論理が他の現象に適用できないかを考える。</p> <p>○場面転換と心情の変化、場面と内面の同値、人物と人物の対比に注目して本文を読み進めることで、小説を客観的に読む力を獲得する。近代文学の流れについて理解する。</p>	<p>*『TOP2500』によって基本的に週1回漢字テストを実施する。</p> <p>* 実用国語は『大学入学共通テストへのアプローチ』を使用する。</p>
3	<p>① 評論 丸山真男『『である』ことと『する』こと』</p> <p>① 小説 横光利一「蠅」</p>	<p>○丸山真男の業績に触れ近代社会に関する基礎的な知識を学ぶとともに、今後の社会を考える礎を養う。</p> <p>○新感覚派の小説を通し、その特徴を理解すると同時に、日常における悲劇に触れて感性を養う。</p>	<p>*『TOP2500』によって基本的に週1回漢字テストを実施する。</p>